



平成 25 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代 表 者 名 代表取締役社長 河 南 雅 成
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 CFO 三 ツ 木 勝 俊
(TEL. 03-3517-1353)

第三者割当による新株式発行に係る払込完了のお知らせ

平成25年8月5日開催の取締役会において決議いたしました伊藤忠ケミカルフロンティア㈱との資本業務提携に伴う下記の第三者割当による新株式発行に関して、本日、割当先である伊藤忠ケミカルフロンティア㈱より2億179万400円の払込みが完了いたしましたので、お知らせいたします。

記

第三者割当による新株式発行の概要

(1) 発行新株式数	普通株式 41,900株
(2) 発行価額	1株につき4,816円
(3) 発行価額の総額	201,790,400円
(4) 資本組入額	1株につき2,408円
(5) 資本組入額の総額	100,895,200円
(6) 割当方法	第三者割当
(7) 割当先及び割当株式数	伊藤忠ケミカルフロンティア㈱ 普通株式 41,900株
(8) 申込期日	平成25年8月22日(木)
(9) 払込期日	平成25年8月22日(木)

(注) 伊藤忠ケミカルフロンティア㈱との資本業務提携に関する詳細につきましては、平成25年8月5日に公表いたしました「資本業務提携及び第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」をご参照下さい。

【ご参考】

1. 今回のファイナンスの主な目的

(1) バイオ後続品開発の加速化と将来収益の向上

本第三者割当による調達資金につきましては、伊藤忠ケミカルフロンティア㈱と合意したバイオ後続品の共同開発に充当することで、臨床試験入りまでの期間を大幅に短縮し、開発の加速化を図ってまいります。同時に、当該品目の製造コストの大幅な低減と品質の向上にも目途が立ちつつあることから、上市後の販売において売上や利益率を向上させ、将来収益の向上にも資するものと考えております。

(2) アライアンスの加速化

上記品目については、販売を行う製薬企業の探索においても、伊藤忠ケミカルフロンティア㈱のネットワークを活用することができます。これにより、製薬企業と早期のアライアンスとバリューチェーンの完成を目指します。

さらに、伊藤忠ケミカルフロンティア㈱とのシナジーは、他のバイオ後続品にも同様に応用できると考えております。このため、同社に当社株式を割り当てることで、他の品目についても優良な企業を当社に紹介するインセンティブとなり、同様にアライアンスの加速化につながるものと期待しております。

2. 企業価値の向上に向けて

当社は、収益基盤の早期確立を目指しておりますが、より短期的にはバイオ後続品の早期臨床試験入りを重要な指標と位置付けております。バイオ後続品の開発は、先発薬との同等性を証明することが難しいものの、先発薬において既に臨床効果が確認されていることから、副作用などによって臨床開発が中止となるリスクは低いと言えます。このため、臨床試験入りができた後は、着実なプロセスを経ることで、高い確率で上市につなげることができるものと考えております。このような考えから、当社は複数の品目を早期に臨床試験入りさせ、将来収益の確度を高めることで、企業価値の向上を図ってまいります。

以 上